令和５年度第２回　静岡県立浜北西高等学校学校運営協議会　議事録

１　日時　令和５年９月 14 日（木）　午後１時 30 分から午後３時 30 分まで
２　場所　静岡県立浜北西高等学校　応接室
３　出席者（委員、敬称略）
　梅林欽哉（元小学校・中学校管理職）、阿部卓也（静岡県議会議員）、
　横田みどり（横田整形外科婦長）、中津川智美（常葉大学教授）、
　金島徹（浜北区調整官）、森下晃行（農業起業家）、
　明保晴香（浜北国際交流協会）
学校関係者
　邑田聡一（校長）、戸田敬之（副校長）、伊藤正徳（教頭）、
　山田哲也（事務長）、北野典子・本多絢乃（授業者）
４　議事
(1) 開会
(2) 授業参観（一人一台端末を使用した授業）
(3) 授業の感想及び協議
学校運営協議会委員のからの質問や意見は以下の通り。
・グーグルフォームで個々の生徒の出来具合を把握できるか。
・生徒によって（端末の取扱いに）個人差があるが、どのように指導しているか。クロムブック（端末）の取扱い方とか指導しているか。
・生徒たちが互いにわからないことを聞き合うことで生徒たちに輪ができる。
・クロムブックは家に持ち帰ることができるか。　学校で使っているだけでは（取扱い方）身に付かない。
・生徒会に（クロムブックの）仕組みや使い方を投げかけるのがいいのではないか。３つ、４つ選択できる仕組みを。今までだと先生の示すやり方１つだけだが、クロムブックを使えばいろいろなやり方ができる。各生徒それぞれのやり方が。生徒たちに、何を学びたいのか、どういう教育を受けたいかアンケートを取ってはどうか。話せるようにする英語はしないのか。各生徒それぞれのやり方、ぜひ推進してもらいたい。
・クロムブックの使い方で、会話ができるアプリはないのか。利用の仕方で会話力が上がるのではないか。物理だったら、クロムブックを使って「浮力」のイメージをわかりやすく伝えることができるのではないか。耳から入る情報よりも視覚から入る情報の方がよいのではないか。文系より理系の方がクロムブックを使いやすいのではないか。文章だとチャット GPT がある。（クロムブックを使えば）国語なら、風景と俳句を組み合わせたりするなど、視覚と連動した学習ができる。

・生徒はクロムブックを使うようになって、どんな感想を持っているのか。
・これ（クロムブックを使用した授業）は先生たちの負担は大きい。勉強しなければいけない。
・生徒たちに考えさせたらいいのでは（使い方）。Teaching から coaching へ。
・先生たちがノイローゼにならないか心配。特に、年齢の高い方にとってクロムブックの使用は大変ではないか。学校は人と人、先生と生徒との触れ合いの場である。クロムブックは万能ではない。クロムブックでできることとできないことがある。
浜北西高は、男女間の仲が良い。いいグループワーク。話し合う時、互いにしっかり相手の目を見て話をしている。すごくいい学びとなっている。浜北西高は、学びの基礎ができている。
・キーボードを使う練習になるか。
・（クロムブックを使う授業は）先生たちが楽しいと思えるなら良い。視覚の勝負になってしまう。目に入ったものだけ。深く物事を考えることが必要。議論とか。
・先生たちはよくやっている。よく勉強している。日々努力している。先生たちが頑張っている様子を地域に伝えることが必要である。
・生徒たちが楽しそうだった。かわいい。グループワークも相手の目を見て話し、聞く姿勢がとても良い。
・クロームブック、スマホを見る時間が増えることで、生徒の目に大きな負担がかかり、また姿勢も悪くなる。どのように指導しているのか。

(4) 浜松市のユニバーサルデザインについて（横田みどり氏より）
(5) 学校からの近況報告
(6) 閉会